

資料3

I ③ 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った公営企業会計の団体名・会計名一覧

事業区分	都道府県名	市区町村名	会計名	概要掲載ページ数	
水道事業	北海道	釧路町	水道事業会計	1	
交通事業	青森県	八戸市	自動車運送事業会計	2	
	愛知県	名古屋市	自動車運送事業会計	3	
	京都府	京都市	高速鉄道事業特別会計	5	
			自動車運送事業特別会計	6	
	佐賀県	佐賀市	自動車運送事業会計	7	
	熊本県	熊本市	交通事業会計	8	
	鹿児島県	屋久島町	船舶事業特別会計	10	
	病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	11
			赤平市	病院事業会計	12
深川市			病院事業会計	13	
			由仁町	国民健康保険由仁町立病院事業会計	14
青森県		板柳町	国民健康保険板柳中央病院事業会計	15	
			鶴田町	病院事業会計	16
			公立金木病院組合	病院事業会計	17
			一部事務組合下北医療センター	病院事業会計	19
			北部上北広域事務組合	病院事業会計	21
兵庫県		三木市	病院事業会計	22	
市場事業		北海道	釧路市	釧路市公設地方卸売市場事業会計	24
		大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	25
	山口県	岩国市	市場事業特別会計	27	
と畜場事業	徳島県	徳島市	食肉センター事業特別会計	28	
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	30	
			百石住宅用地造成事業会計	32	
	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別会計	34	
	香川県	坂出市	坂出港湾整備事業特別会計	35	
	下水道事業	青森県	黒石市	下水道事業会計	36

宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	30
			百石住宅用地造成事業会計	32
	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別会計	34
	香川県	坂出市	坂出港港湾整備事業特別会計	35
下水道事業	青森県	黒石市	下水道事業会計	36
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	37
		黒石市	温泉供給事業特別会計	38
			観光施設事業特別会計	39
		大鰐町	温泉事業特別会計	40
			休養施設事業特別会計	41
	石川県	白山市	観光事業特別会計	42
	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	43
	和歌山県	串本町	国民宿舎事業会計	45
	山口県	美祢市	観光事業特別会計	47
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	49
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	51

北海道釧路町 水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		88,781	88,601	346,149
解消実績額 B		97,474	113,441	—
現在計画 C		—	113,441	145,005
B-A 又は C-A		8,693	24,840	△201,144
資金不足額	610,189	512,715	399,274	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	207.9	178.9	174.6	150.4	134.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 釧路町再生緊急プランの進捗管理状況と整合性を図っている。

青森県八戸市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 組織、定員及び給与については、当初計画どおり正職員の退職者不補充を実施（臨時職員で補充）。
- ・ 料金その他の収入については、新たな企画乗車券の販売並びに新たな運賃制度、広告収入の増収対策及びサービス向上についての検討を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・ 経営基盤の強化については、路線再編、一部路線の等間隔ダイヤ化等、中心街のバス停留所の名称統一及び乗り場番号付番等、行先表示の方面別記号の追加を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画	A		126,430	49,596	122,497	253,701
解消実績額	B		186,834	88,332	—	—
現在計画	C		—	88,332	66,941	236,999
B-A 又は C-A			60,404	38,736	△55,556	△16,702
資金不足額		884,600	697,766	609,434	542,493	56,554

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)	
	計画初年度 の前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率	実績値	66.9	60.6	55.1	59.4	50.5	50.6	7.1

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

愛知県名古屋市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・資金不足額：平成22年度の実績額60億円。計画額86億円より26億円の改善。

[26億円の内訳]

平成21年度に14億円の改善

平成22年度に12億円の改善

- 〔・収入増加方策及び支出抑制方策の効果額が計画を13億円上回った。〕
- 〔・一般会計補助金を計画より1億円縮減した。〕

- ・資金不足比率：平成22年度の実績値31.7%（計画値44.9%）。

- ・収入増加方策

乗車券サービスの向上やICカード「mana」の導入など、積極的な乗客誘致に努めたことから運輸収益は計画を上回ったものの、広告料収入の減などにより営業収益は計画を下回ったが、特別利益が計画を上回り、効果額は計画を2億円上回った。

- ・支出抑制方策

給与カットの継続及び生涯賃金で約20%の減となる給料表の適用など人件費の抜本的な効率化や、自動車燃料費をはじめとした経費の節減等の効果額は、計画を11億円上回った。

- ・自動車運送事業会計への他会計からの出資

高速度鉄道事業会計及び一般会計から、計画どおり出資を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：億円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		△9	28
解消実績額 B		5	40
現在計画 C		—	40
B-A又はC-A		14	12
資金不足額	105	100	60

区分 \ 年度	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A	9	4	5
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	9	4	5
B-A又はC-A	0	0	0
資金不足額	51	47	42

区分 \ 年度	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	2	11	16
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	2	11	16
B-A又はC-A	0	0	0
資金不足額	40	29	13

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7

年度 \ 資金不足比率	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	39.6	37.7	35.1

年度 \ 資金不足比率	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	34.1	28.0	19.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・お客様サービスの向上

アイドリングストップシステム付き低公害ノンステップバスの購入、平成23年3月の地下鉄桜通線野並・徳重間の開通に伴う、鳴子北バスターミナルの新設及び徳重交通広場の活用による、地下鉄との乗り継ぎ利便性の向上を図るなど効率的で利便性の高いバス路線への再編成、接客コンクールの実施など、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

・活力ある職場づくり

「人財育成プログラム」の導入準備を進めるとともに、市バス運転技能競技会を実施するなど、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

・計画の進行管理

外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため、名古屋市交通事業経営健全化委員会を設置し、5月及び11月に開催した。

京都府京都市 高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、ダイヤの改善やPRの強化、イベントの開催、駅ナカビジネスの拡大などを計画どおり実施するとともに、副市長を本部長とする「京都市地下鉄5万人増客推進本部」の下、全庁を挙げた増客の取組を推進。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、経常経費の削減などを計画どおり実施。
- ・一般会計支援等の拡充については、一般会計からの経営健全化出資、東西線三セク区間の直営化に伴う出資及び市バス事業への補助金削減を財源とした高資本費対策補助金を計画どおり繰入れ。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A			1,728,774	137,596	2,590,235	6,699,503
解消実績額 B			4,554,145	8,582,715	—	—
B-A			2,825,371	8,445,119	—	—
資金不足額		30,981,281	26,427,136	17,844,420	15,254,185	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成30年度 (第10年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足 比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	—

京都府京都市 自動車運送事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、増客に向けた系統・ダイヤの編成，バス待ち環境の向上，定時性の向上などを計画どおり実施。
- ・コスト削減策については，総人件費の削減，バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。
- ・一般会計からの補助金については，生活支援路線補助金，市バスの購入費に対する補助金の削減を計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画	A		1,616,994	232,748	827,000	1,288,000
解消実績額	B		2,797,389	1,554,838	—	—
B-A			1,180,395	1,322,090	—	—
資金不足額		11,382,717	8,585,328	7,030,490	6,203,490	55,490

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値		
資金不足比率							
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	59.7	52.5	45.9	50.2	37.4	45.7	13.4

佐賀県佐賀市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 給与支給額の抑制については、当初計画どおり実施。（平均5%カット）
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。（150,000千円）

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A		△1,361	151,321	159,736	141,673
解消実績額 B		43,042	183,103	—	—
現在計画 C		—	183,103	159,736	141,673
B-A又はC-A		44,403	31,782	0	0
資金不足額	659,057	616,015	432,912	273,176	—

3 資金不足比率の状況

（単位：％）

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	101.0	103.8	95.0	77.6	64.4	51.6	8.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に実施状況の概要を掲載。

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・バス事業の移譲。(H22年4月：大江城西線・子飼渡瀬線を移譲)
- ・利用促進に向けた取り組み。(電車の運行系統の色分け・名称変更、熊本駅前電停～田崎橋電停間のサイドリザベーション化、電車優先信号の導入等)
- ・経営の合理化。(299人から246人へ職員削減、管理職手当10%及び職員給料のカット、電車惰行運転の励行による電力使用量削減や燃費向上運転の励行による燃料消費量の削減等)
- ・経営基盤の強化。(バス事業の移譲先へバス車両等を売却、大江用地の一部を売却、「電車事業活性化補助」を新設し一般会計からの支援を拡充等)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	747,002	—
現在計画 C		—	747,002	324,332
B-A 又は C-A		66,022	94,547	0
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,854,052

年度 区分	計画24年度 (第4年度)	計画25年度 (第5年度)	計画26年度 (第6年度)	計画27年度 (第7年度)
当初計画 A	380,815	987,495	677,713	1,883,751
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	380,815	987,495	677,713	1,883,751
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	3,473,237	2,485,742	1,808,029	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	176.0	171.1

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	156.8	117.9	104.8	4.7

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための方策に係る実施プログラムシート及び検証シートを作成し、経営健全化計画の着実な実施を図った。

鹿児島県屋久島町 船舶事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入については、計画どおり実施。(68,456千円)
- ・経費削減に向けた取り組みとして、船舶運営委員会を開催し、ダイヤ改正について協議を行った。更に、補助対象外経費の削減に取り組んだ。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		16,607	19,758	20,225	25,293
解消実績額 B		53,376	1,653	—	—
現在計画 C		—	1,653	20,225	9,265
B-A 又は C-A		36,769	△18,105	0	△16,028
資金不足額	84,519	31,143	29,490	9,265	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	177.2	146.4	54.6	103.8	61.2	60.2	5.8

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・資金不足の早期解消を図り、今後は新船建造に向けた基金積立とともに新船建造委員会を設置する予定。
- ・年度ごとに計画の進捗状況の点検・見直しを行い、経営健全化を着実に推進する。

北海道美唄市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		12,769	△87,160	373,920
解消実績額 B		37,901	△48,522	—
現在計画 C		—	△48,522	373,920
B-A 又は C-A		25,132	38,638	0
資金不足額	1,492,513	1,454,612	1,503,134	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 市民に信頼される病院づくりについては、概ね計画どおり実施。
- ・ 経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

北海道赤平市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画 A		168,791	△29,512	256,542
解消実績額 B		427,806	345,290	—
現在計画 C		—	345,290	106,542
B-A 又は C-A		259,015	374,802	△150,000
資金不足額	1,400,741	972,935	627,645	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	81.2	67.1	51.0	68.9	32.9	11.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 公営企業法の全部適用について平成 23 年度中に結論を得る。

北海道深川市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		△138,000	△2,000	203,000
解消実績額 B		△66,082	218,803	—
現在計画 C		—	218,803	203,000
B-A 又は C-A		71,918	220,803	0
資金不足額	1,543,168	1,609,250	1,390,447	390,447

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	41.1	47.9	45.1	46.2	38.9	18.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 「深川市立病院経営健全化計画外部評価委員会」を設置し、評価結果をホームページで公表。

北海道由仁町 国民健康保険由仁町立病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A			72,112	77,100	73,700
解消実績額 B			73,683	86,711	—
現在計画 C			—	86,711	73,700
B-A 又は C-A			1,571	9,611	0
資金不足額		441,461	367,778	281,067	37,868

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	実績値	135.1	106.9	105.3	84.3	77.0	13.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県板柳町 国民健康保険板柳中央病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費の抑制については、当初計画どおり看護師を患者数に応じて弾力的に配置し、可能な限り少ない人数で対応。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画	A		72,975	59,984	59,227	66,371
解消実績額	B		80,136	104,568	—	—
現在計画	C		—	104,568	59,227	66,371
B-A 又は C-A			7,161	44,584	0	0
資金不足額		468,071	387,935	283,367	224,140	92,676

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の前年度		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	
資金不足比率		63.2	52.3	52.0	44.9	35.6	36.1	18.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・収入確保のため、脳卒中や心筋梗塞予防に有効な超音波診断装置による検査推進、弘前大学医学部附属病院と患者の相互紹介など機能連携推進。
- ・経費節減のため、病理分析委託について見積もり合わせを実施。
- ・細やかな患者サービス提供のため、患者等へ休診や医師交代等の診療医師情報を電子メールで配信。

青森県鶴田町 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 病院事業収支の改善については、当初計画どおり常勤医師の確保及び全面院外処方を実施。(平成 22 年 4 月から外科医師 1 名確保。平成 22 年 4 月から全面院外処方を開始。)
- ・ 人件費については、医療技術員及び薬剤師の退職不補充を実施したが、近年の看護師不足の状況及び入院基本料維持のため、正職員看護師を 3 人採用。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画	A		61,000	52,000	75,000	479,198
解消実績額	B		66,991	47,609	—	—
現在計画	C		—	47,609	75,000	477,598
B-A 又は C-A			5,991	△4,391	0	△1,600
資金不足額		749,198	682,207	634,598	559,598	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値		
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足 比率	61.7	62.4	63.7	56.6	76.3	49.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県公立金木病院組合 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 集中カルテ方式の採用については、検討の結果中止（医師確保により標欠を回避。また、圏域5病院の医療機能再編に向け、平成23年度から電子カルテ等の導入に取り組む）。
- ・ 診療単価の増については、加算取得等により入院及び外来の診療単価増加。
- ・ 在宅リハビリテーションは対象患者の減少により実施困難となったため、重点を訪問診療に移して実施。
- ・ 人件費の抑制については、当初計画どおり給与カットを継続。
- ・ その他の経費節減策については、委託契約内容の見直し及び材料費の適正購入を継続。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
	当初計画 A			△110,287	28,890	86,814
解消実績額 B			△125,662	87,338	—	—
現在計画 C			—	87,338	86,814	1,152,308
B-A 又は C-A			△15,375	58,448	0	0
資金不足額	1,246,641		1,372,303	1,284,965	1,198,151	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成25年度 (第5年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	88.8	95.0	95.6	94.5	81.2	85.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・自治体病院機能再編成への対応については、再編が平成 24 年度に前倒しとなったが、再編に向けた準備を進めている。
- ・サービス向上対策については、接遇をはじめ機器操作や医療知識等のテーマで積極的に院内の勉強会を開催。

青森県一部事務組合下北医療センター 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

【むつ総合病院】

- ・第五次病院事業経営健全化により平成20年度までに講じてきた収益確保及び費用削減策を、当初計画どおり継続して実施。

【むつリハビリテーション病院】

- ・一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり平成21年度末で資金不足解消。

【川内診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。

【大畑診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。

【脇野沢診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。

【大間病院】

- ・増収策について、事業所健診の受入を実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

【佐井地区診療所】

- ・人件費については、当初計画どおり事務職の給与費削減を実施（給与2%カット、期末・勤勉手当3%カット）を継続。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

【風間浦診療所】

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。

【東通地区診療所】

- ・一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり資金不足はない。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		754,186	788,713	1,075,585	1,662,216
解消実績額 B		749,347	1,050,185	—	—
現在計画 C		—	1,050,185	969,676	1,260,784
B-A 又は C-A		△4,839	261,472	△105,909	△401,432
資金不足額	5,975,406	5,226,059	4,175,874	3,206,198	1,945,414

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度 実績値	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	51.8	44.7	45.1	38.4	35.5	28.9	14.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成24年度末までに、むつ総合病院以外の病院及び診療所を所在市町村へ移管することについて検討。

青森県北部上北広域事務組合 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・医療画像システムの導入については、当初計画どおり導入し電子画像管理加算を取得。
- ・訪問看護の実施及び医療安全対策、院内感染対策等に対して専従看護師を配置することによる医療報酬加算の取得については、当初計画どおり実施。
- ・短期入所療養介護については、当初計画どおり空き病床を利用して実施。
- ・乳がんドッグ、肺がんドッグ、心臓ドッグ及び一般健診については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成22年度)	平成23年度 (第2年度)	平成26年度 (第5年度)
当初計画 A			△302,408	127,277	346,277
解消実績額 B			△280,862	—	—
現在計画 C			△280,862	127,277	346,277
B-A 又は C-A			21,546	0	0
資金不足額		509,026	789,888	662,611	60,939

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成22年度)		平成23年度 (第2年度)	平成26年度 (第5年度)	
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率	実績値	23.1	37.9	37.1	29.6	3.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・個別外部監査で指摘を受けた会計処理について改善した。

兵庫県三木市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

1 医師の確保

- ・平成 22 年度は 6 月に皮膚科医師 1 名、平成 23 年 4 月には内科医師 2 名及び麻酔科医師 1 名の増員となった。

2 看護師の確保

- ・平成 22 年度は院内に看護師確保プロジェクトチームを設置し、修学資金貸与制度の導入や看護学校の訪問など積極的な PR 活動を行い、平成 23 年 4 月には 29 名（うち新卒は 22 名）を確保することができた。

3 地域連携の強化

- ・平成 22 年度は、地域医療連携室だよりなど広報活動の充実を図るとともに、インターネットによる検査予約システムを導入するなど体制の強化に努めた。

4 人件費の削減

- ・平成 22 年 4 月に、事務部門で 7 名、検査部門で 4 名、9 月には給食業務委託の実施により 4 名の人員の削減を実施するとともに、平成 21 年 7 月から実施している医師以外の職種の給与の平均 7%カットを平成 22 年度も継続して実施し、人件費の削減を行った。

5 経費の削減

- ・平成 22 年度は、9 月 1 日から給食業務の全面民間委託を実施するとともに、各種委託契約等の見直しを実施した。

6 一般会計からの支援

- ・資金不足解消のためには地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入（10 億円、ただし平成 25 年度は 5 億円）を継続するとしている。
- ・平成 22 年度は、当初計画どおり 10 億円の繰入れを行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
解消実績額 B		269,985	△ 136,630	
現在計画 C		—	△ 136,630	
B-A 又は C-A		133,885	158,370	
資金不足額		1,101,100	831,115	967,745

区分	年度	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
解消実績額 B		—	—	—
現在計画 C		△ 10,000	60,000	867,745
B-A 又は C-A		0	0	△ 292,255
資金不足額		977,745	917,745	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	
			実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		23.6	20.6	17.9	23.7	19.4

区分	年度	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
資金不足比率		21.7	20.7	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度は、経営健全化推進本部を設置し、進行管理を行った。

北海道釧路市 釧路市公設地方卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A			47,949	47,665	85,918
解消実績額 B			52,377	53,355	—
現在計画 C			—	53,355	85,918
B-A 又は C-A			4,428	5,690	0
資金不足額		268,156	215,779	162,424	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	450.3	371.7	354.6	286.1	259.7	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

・収入における方策について

(1) 入居促進を実施（入居者数 4件）

（収入額） 計画額 33 百万円 → 実績額 37 百万円（4 百万円増）

(2) 未利用地の処分を実施（処分面積 320.36 ㎡）

（収入額） 計画額 80 百万円 → 実績額 36 百万円（44 百万円減）

・支出における方策について

(1) 人員削減

（人員削減）計画値 22 人 → 実績値 22 人

（人件費） 計画額 984 百万円 → 実績額 912 百万円（72 百万円減）

(2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制

（物件費）計画額 2,429 百万円 → 実績額 2,305 百万円（124 百万円減）

(3) 投資的経費の見直し

（建設改良費）計画額 3,840 百万円 → 実績額 3,036 百万円

・その他の資金収支を改善する方策について

資本費平準化債の発行

計画額 2,092 百万円 → 実績額 2,092 百万円

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	2,091,196	—	—
現在計画 C		—	2,091,196	1,651,809	1,235,306
B-A 又は C-A		412,588	367,930	0	0
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,762	7,565,953	6,330,647

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	4,804,186	3,292,490	1,089,524	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	116.2

年度 資金不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	92.8	68.7	32.0	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
 中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組みを実施
 電子商取引（販売原票データ等）テストを継続実施
- ・ 環境対策の推進
 太陽光発電設備設置工事の完了 等

山口県岩国市 市場事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・市場経由率向上による取扱高の維持により市場使用料を確保。
- ・未利用地等の有効活用による施設使用料の増収。
- ・経常経費の徹底した見直しによる費用削減。
- ・一般会計からの繰入れを計画どおり実施。
- ・市場内業者の経営基盤強化を図るため経営アドバイザーに依頼を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A			450,730	437,576	483,766
解消実績額 B			457,411	446,894	—
現在計画 C			—	446,894	461,337
B-A 又は C-A			6,681	9,318	△22,429
資金不足額		2,307,876	1,850,465	1,403,571	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画初年度 の前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	実績値	1,492.8	1,220.9	1,264.3	974.7	997.4
						—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 28 年度の市債償還までは一般会計から繰入れ、平成 29 年度からは繰入金が無くても黒字化を予定。
- ・指定管理者制度の導入等についての研究・検討を進める。
- ・経営管理に精通した人材の育成や適正配置など、人事面での対策を講じる。

徳島県徳島市 食肉センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・計画の概略は、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間で総額 734, 129 千円の累積赤字を一般会計からの繰入によって解消し、資金不足比率を 0%とするもの。
- ・平成 22 年度は、当初計画どおり一般会計から 183, 533 千円の繰入を実施し、累積赤字の減少を図った。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		0	183, 533
解消実績額 B		0	183, 533
現在計画 C		—	183, 533
B-A 又は C-A		0	0
資金不足額	734, 129	734, 129	550, 596

年度 区分	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	183, 533	183, 533	183, 530
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	183, 533	183, 533	183, 530
B-A 又は C-A	0	0	0
資金不足額	367, 063	183, 530	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	458.0	620.4	655.7	465.3	533.7

年度 資金 不足比率	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	310.2	155.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・本市食肉センターの利用料金増収に向けて、指定管理者制度を有効に活用し、業界と一体となった取組みを進める。
- ・平成 22 年度に徳島県や指定管理者で構成する「徳島市立食肉センター活性化検討協議会」を設置し、当食肉センターが県域における畜産振興や地域経済の発展に寄与する重要な施設という共通認識のもと、当食肉センターの経営基盤の強化や活性化策について協議を進めている。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689
解消実績額 B		527,844	644,929	—
現在計画 C		—	644,929	80,689
B-A 又は C-A		0	76	0
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,152,926

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 36 年度 (第 16 年度)
当初計画 A	80,422	80,437	80,711	80,605
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	80,422	80,437	80,711	80,605
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	2,072,504	1,992,067	1,911,356	1,104,881

年度 区分	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
当初計画 A	80,715	113,211
解消実績額 B	—	—
現在計画 C	80,715	113,211
B-A 又は C-A	0	0
資金不足額	620,410	103,056

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	276.4	265.7	254.9

年度 資金不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	147.2	82.5	15.0

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・2区画分譲の当初計画に対し、3区画を分譲。
- ・他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	—
現在計画 C		—	105,934	104,000
B-A 又は C-A		△ 13,365	1,934	0
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	734,804

区分 \ 年度	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	104,000	104,000	104,000	110,804
B-A 又は C-A	0	0	0	11,431
資金不足額	630,804	526,804	422,804	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分 \ 年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	440.4	382.8	319.8

年度 資金不足比率	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

鳥取県米子市 流通業務団地整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 企業進出の促進については、当初計画は毎年度2区画の進出予定であったが、平成22年度は新規の進出はなかった。(ただし、既進出企業による定期借地面積の拡大(約5,600平方メートル)により、団地利用率が約79.6パーセントに増加。)
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画	A		△130,252	△119,857	2,641,904
解消実績額	B		△240,602	△202,993	—
現在計画	C		—	△202,993	2,139,796
B-A 又は C-A			△110,350	△83,136	△502,108
資金不足額		2,166,546	2,407,148	2,610,141	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成25年度 (第5年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		54.4	56.9	60.6	63.5	67.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 流通業務団地の規制緩和を始め、分譲価格の検討、事業用定期借地区画の拡大等により企業進出の促進を図る。
- ・ 資金不足の解消に向けて、一般会計から繰入れを行う。

香川県坂出市 坂出港港湾整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当初計画のとおり臨海部土地造成事業を会計分離し、第三セクター等改革推進債により事業を廃止した。
- ・当初計画のとおり、一般会計から繰出し(21年度 50,000千円 22年度 31,000千円)を行った。
- ・基金からの資金運用をおこない、一時借入金利息の負担軽減をおこなった。
- ・港の利用率向上を図るため、パンフレットの作成、ホームページの作成を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A			1,074,136	47,530	48,012	51,134
解消実績額 B			1,078,729	56,005	—	—
現在計画 C			—	56,005	48,012	51,134
B-A 又は C-A			4,593	8,475	0	0
資金不足額		1,159,483	142,083	86,078	38,066	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 の前年度		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	
資金不足比率		4,375.0	623.6	579.6	386.4	337.6	155.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・第三セクター等改革推進債を活用し、臨海部土地造成事業を廃止した。
- ・埠頭用地、野積場使用料収入が増加(980千円)したことにより、資金不足比率が計画値386.4%に対し337.6%となっている。

青森県黒石市 下水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入金については、当初計画どおり実施。
- ・機構改革を実施し、職員を1名減。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		△88,401	33,692	1,072,139	509,259
解消実績額 B		△60,820	245,012	—	—
現在計画 C		—	245,012	1,072,139	509,259
B-A 又は C-A		27,581	211,320	0	0
資金不足額	1,526,689	1,587,509	1,342,497	270,358	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	515.1	540.8	534.3	528.9	441.9	154.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・料金改定のため条例を改正（平成23年8月請求分から改定）。

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・入込客数については、ニーズに合わせた商品及びサービスの充実、底辺拡大イベントの開催を実施した結果、前年度より増加。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・指定管理内容の検討については、平成 22 年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			10,994	9,261	118,379	130,272
解消実績額 B			6,793	11,443	—	—
現在計画 C			—	11,443	118,379	132,291
B-A 又は C-A			△4,201	2,182	0	2,019
資金不足額		664,747	657,954	646,511	528,132	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・弘前市内の 4 スキー場の必要性やあり方等について、庁内関係課による検討会議の結果に基づき、市民からの意見収集、課題等の洗い出し及び解決に係る作業を実施予定。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A		21,065	24,521	23,349	25,572
解消実績額 B		24,731	26,571	—	—
現在計画 C		—	26,571	23,349	25,572
B-A 又は C-A		3,666	2,050	0	0
資金不足額	165,435	140,704	114,133	90,784	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	1,417.3	991.7	955.0	815.4	693.6	656.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県黒石市 観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画	A		28,058	28,622	29,197	27,648
解消実績額	B		31,695	28,943	—	—
現在計画	C		—	28,943	29,197	27,648
B-A 又は C-A			3,637	321	0	0
資金不足額		204,686	172,991	144,048	114,851	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成27年度 (第7年度)
	計画初年度の前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	9,308.1	8,032.2	8,163.8	6,730.6	5,504.3	5,402.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県大鰐町 温泉事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・経費の削減については、各種補助金等を活用して、施設の計画的なメンテナンスを行い、当初計画どおり維持管理費を抑制。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	当初計画 A			77,105	67,491	64,838
解消実績額 B			77,862	70,383	—	—
現在計画 C			—	70,383	65,439	36,148
B-A 又は C-A			757	2,892	601	△4,250
資金不足額		249,832	171,970	101,587	36,148	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	1,441.8	997.3	962.2	999.2	823.3	349.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・料金の改定等について温泉利用協同組合等との協議を継続中。

青森県大鰐町 休養施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		31,751	64,053	230,152
解消実績額 B		30,193	272,001	—
現在計画 C		—	272,001	23,762
B-A 又は C-A		△1,558	207,948	△206,390
資金不足額	325,956	295,763	23,762	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	316.1	252.4	274.3	※	※	—

※ 平成22年度は、おおわに山荘の営業休止により事業規模が0(ゼロ)のため、資金不足比率は算定されない。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成23年度末の会計廃止に向けて、施設の譲渡及び転用等の有効活用策を検討中。

石川県白山市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 資金不足額の解消として白山一里野温泉スキー場について、当初計画を前倒しし、107,970千円を一般会計から繰り入れ。
- ・ 白山千丈温泉セイモアスキー場を観光事業特別会計から一般会計へ移管。
- ・ 白山千丈温泉セイモアスキー場に関連する(株)セイモア内尾について、特別清算により解散。清算上処理できない負債について市が第三セクター改革推進債を活用。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度	計画初年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	の前年度	(平成 21 年度)	(第 2 年度)	(第 3 年度)	(第 4 年度)	
当初計画 A		502,743	0	200,000	170,675	
解消実施額 B		503,375	107,970	—	—	
現在計画 C		—	107,970	100,000	162,073	
B-A 又は C-A		632	107,970	△100,000	△8,602	
資金不足額	826,498	370,043	262,073	162,073	—	

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度		平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度
	の前年度	(平成 21 年度)		(第 2 年度)		(第 3 年度)	(第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	202.7	88.5	85.4	121.1	146.6	68.3	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 22 年度当初予算において、白山千丈温泉セイモアスキー場の運営経費の経理内容を明らかにするため、一般会計にスキー場費を設ける。
- ・ 行政評価システムの構築として、指定管理者からの報告及び現地調査などにより、仕様書に基づくサービスの提供が確保されているかを確認・指導。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 指定管理者の募集を行い、株式会社休暇村サービスが選定され、6月議会の議決を経て指定管理者として指定した。市直営による運営から、指定管理者による運営管理をする事になった。
- ・ 平成22年10月1日より宇陀市保養センター事業特別会計は、宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画の管理をしていくこととなった。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施した。
- ・ 上半期の直営時の売上の減収と、又、指定管理者の営業収益も減収したため資金不足額及び資金不足比率が増加した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実施額 B		43,911	△6,909	—
現在計画 C		—	49,691	△19,503
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	125,078
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,258,942

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成28年度 (第8年度)	平成32年度 (第12年度)
当初計画 A	70,480	161,668	147,247
解消実施額 B	—	—	—
現在計画 C	70,816	161,668	147,184
B-A 又は C-A	336	0	△63
資金不足額	1,188,126	676,162	80,123

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	224.2	127.6	15.1

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

和歌山県串本町 国民宿舎事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当計画では、平成20年度決算時に194.1%であった資金不足比率を、一般会計から繰入れを行うことによって0%にする計画としている。
- ・早期に経営健全化基準である20%以下とするため、平成22,23年度に集中的に繰入れを行うことによって、平成23年度に同基準以下とし、平成24年度に0%とする方針とした。
- ・平成22年度は、資本的収入に17,015千円、収益的収入に24,097千円、合計41,112千円の繰入れを行った。
- ・平成21年度末で141,721千円であった不良債務が18,722千円減少して122,999千円となり、指定管理者の営業収益（事業規模）については66,600千円から98,412千円に増加したことから、資金不足比率が124.9%まで大幅に減少した。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画A		15,935	18,501	18,501	18,501
解消実績額B		21,076	18,722	—	—
現在計画C		—	18,722	112,183	10,816
B-A又はC-A		5,141	221	93,682	△7,685
資金不足額	162,797	141,721	122,999	10,816	—

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画A	18,501	18,501	22,350	32,007
解消実績額B	—	—	—	—
現在計画C	—	—	—	—
B-A又はC-A	△18,501	△18,501	△22,350	△32,007
資金不足額	—	—	—	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	194.1	175.1	212.7	153.1	124.9	131.0	108.9

年度 資金不足比率	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	86.9	64.8	38.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成22年度より新たな指定管理者により国民宿舎の運営を行っている。指定管理者に毎月業務報告を行わせ、経営状況を厳しくチェックし、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に留意し、経営基盤強化に努める。

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ テレビ、ラジオスポット等による積極的な広告宣伝、観光キャンペーン等の展開。
- ・ 九州新幹線の全線開通に伴い、九州南部地域での秋芳洞、秋吉台のPRを行い、修学旅行等の団体客誘致活動を展開。
- ・ 施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信。
- ・ 施設管理係の職員1名と秋芳洞案内業務の職員を5名減員し、その不足分を委託職員で対応。
- ・ トロン温泉について閑散期の営業時間を1時間短縮し、入浴施設の一部を閉鎖。また、休業日の見直しを実施。
- ・ 秋吉台リフレッシュパークと秋吉台家族旅行村の包括的指定管理の検討。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A		159,138	250,215	132,072
解消実績額 B		221,882	184,998	—
現在計画 C		—	184,998	134,545
B-A 又は C-A		62,744	△65,217	2,473
資金不足額	1,312,648	1,090,766	905,768	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成26年度 (第6年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・美祢市総合観光振興計画を策定し、振興策と経営健全化について、平成 26 年度までに優先的に実施する重点プロジェクト 9 項目を策定。
- ・養鱒場について、鱒の販路拡大と釣り堀での使用料収入の増加を目指した取組を実施。
- ・国の交付金事業による秋芳洞の洞内照明の LED 化、黒谷出口の人工トンネルにアートパネルの設置等イメージアップの実施。
- ・職員の研修セミナーへの派遣、接遇研修の充実等、来客者の満足度を高める取組を実施。

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年度の計画では、収益的収入については前年度実績額より 28,341 千円増の 358,894 千円、それに伴う収益的支出については前年度実績額より 23,017 千円増の 342,510 千円と見込んでいたが、収益的収入の実績額については新たな企画プラン、レストラン及び売店商品の充実により 357,480 千円とほぼ計画どおりとなり、収益的支出の実績額については材料費比率、管理経費等の削減努力により、329,327 千円と計画を下回る結果となった。
- ・計画と比較して、収益的収支については 11,769 千円の増加、資金不足額については 9,305 千円の減少となり、平成 22 年度の資金不足比率については、計画値 250.5%に対し、実績値 246.7%と改善した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	—
現在計画 C		—	△87,944	67,524
B-A 又は C-A		7,820	9,305	7,464
資金不足額	765,310	793,397	881,341	813,817

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	85,968	△4,469	145,573
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	73,620	85,968	△4,469	145,573
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	740,197	654,229	658,698	513,125

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	136,497	136,497	136,498	136,497
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	136,497	136,497	136,498	136,497
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	376,628	240,131	103,633	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	225.4	200.1	201.4	158.5	118.2

年度 資金不足比率	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	78.0	37.7	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 15 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 施設管理費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A		287,301	281,218	297,934
解消実績額 B		279,469	271,397	—
現在計画 C		—	271,397	297,934
B-A 又は C-A		△7,832	△9,821	0
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,363,034	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3117.3	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況